

# 「次世代へつなぐ、安心の未来。」 連合推薦 徳永エリがV3!!



花束ではなく、野菜のバスケットが贈呈！喜びの徳永エリさん(7/10)

第26回参議院議員選挙は、7月10日に投票を迎え、連合北海道推薦、立憲民主党の現職・徳永エリさんが見事当選を果たしました。選挙戦は終始自民・非自民横一線との情勢が伝えられる中、物価高や格差是正などの課題に対して「政治の力で不安

を安心に変える」と全道で遊説を展開。安倍元総理銃撃事件もあり、最終日は、マイクを使わず、札幌市内の街頭に終日立ち続け、直接有権者の声に耳を傾けるなど、人と人との丁寧な対話が今回の勝利につながりました。

連合推薦候補の選挙区

完勝をめざし、道内を駆け巡った、国民民主党の新人・うすきひでたけさんは、残念ながら結果に至りませんでした。

**比例代表 連合推薦候補 8名が勝利を掴む！**

比例代表では、連合推薦候補が8名(立憲5名・国民3名)当選を勝ち取りました。野党勢力の伸び悩みは否めない結果となり、与党は自公あわせて76議席を獲得し、自民だけでも改選過半数を確保するなど、「数の力」での国会運営が危惧されます。

全国における選挙区での投票率は、前回3年前の参院選より3ポイント以上高い、52.05%と若干改善したものの過去4番目の低さであり、「投票へ行こう」といった投票率向上への取り組みは引き続きの課題と感じます。

来春は統一地方選です。私たちは、働く者・生活者のための政策の実現、連合のめざす「働くことを軸とする安心社会」の実現へ、これから進めていきたいと思います。

## 「誰もが時給1,000円」の早期実現を！

最低賃金 議論始まる

地方最賃審議会の自主性確保と早期発効を！

2022年度の最低賃金(最賃)に関する議論が労働者と経営者の代表、有識者で構成する中央最低賃金審議会が6月28日に始まりました。物価高が進む中、労使が引き上げ幅を巡り攻防を本格化させ協議を重ね、7月下旬に目安額が示されます。これを受けて各地方審議会が審議し、都道府県ごとの引き上げ額が決まります。

現在、全国加重平均は時給930円で、引き上げ額は過去最大の28円でした。政府が6月に閣議決定した経済財政運営の指針「骨太方針」は「できる限り早期に全国加重平均千円以上をめざす」と明記しています。

連合北海道は6月14日、北海道労働局に対して「2022年度北海道最低賃金改正等に関する要請」を行い、審議会での改定審議において、最低賃金法の原則や目安制度に基づいた自主性の尊重、10月1日発効が図られるような審議日程とすること等を求めました。

今年度の北海道最低賃金の改定に関する審議会は、これまで2回(6月17日、7月1日)開催され、改定に向けた審議がスタートしました。このうち、連合北海道最賃対策委員会の取り組みとともに、審議会の議論も本格化します。

連合北海道は、すべての働く者の賃金の下支えとなるよう取り組みを強化します。



最低賃金の大幅引き上げを訴える



**第25代(北海道第10代)高校生平和大使**  
(写真左から)  
猪俣 愛紗美さん (登別明日中等教育学校2年)  
齊藤 あかりさん (北星学園女子高等学校3年)  
吉田 桜さん (札幌聖心女子学院高等学校3年)

**若い世代に平和運動を継承する 北海道高校生平和大使が決定**

連合北海道と北海道退職者連合で構成する北海道高校生平和大使派遣実行委員会は、今年度の「高校生平和大使」に、北星学園女子高3年の齊藤あかりさん、札幌聖心女子学院高3年の吉田桜さん、登別明日中等教育学校2年の猪俣愛紗美さんを選出し、5月28日札幌市内で記者会見を行い、決意と抱負を述べ、「被爆者から、直接話を聞ける時間は限られており、時間を大切にしたい」と語りました。

3名の平和大使は33名の応募の中から選考され、道外で選ばれた高校生と共に1年間、核兵器廃絶と世界平和を訴える活動を展開します。

今年度は北海道として平和大使の派遣10周年となることから、被爆ピアノコンサートを秋に全道5カ所、4市で開催します。今後、派遣支援カンパ、「高校生1万人署名」の活動などを実施しますので、多くの皆様のご協力をお願いします。

**連合北海道札幌地区連合会ホームページ**

労働相談ホットライン  
フリーダイヤル いこうよ れんごうに  
☎ 0120-154-052

QRコードで速報をチェック!

<http://hokkaido.jtuc-rengo.jp/spk-chiku/>

**札幌れんごう**

札幌市中央区北4条西12丁目ほくろウビル2階  
編集発行人 野宮 佳則 ☎210-0505

2022年7月15日 446号  
連合北海道札幌地区連合会